

## 修了評価の方法

評価基準作成者： 向井 誠

評価方法及び合格基準	<p>1 出題範囲</p> <p>「(1) 職務の理解」から 「(9) こころとからだのしくみと生活支援技術」までとする</p> <p>修了評価Ⅰ</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・ 日本医療企画 初任者研修テキスト1巻から12問出題する</li><li>・ 日本医療企画 初任者研修テキスト2巻から14問出題する</li><li>・ 日本医療企画 初任者研修テキスト3巻から15問出題する</li></ul> <p>修了評価Ⅱ</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・ 日本医療企画 初任者研修テキスト1巻から6問出題する</li><li>・ 日本医療企画 初任者研修テキスト2巻から5問出題する</li><li>・ 日本医療企画 初任者研修テキスト3巻から9問出題する</li></ul> <p>2 出題形式</p> <p>五肢択一形式および記述形式とする</p> <p>3 出題数</p> <p>修了評価Ⅰ</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・ 択一問題 29問(配点2/3点) 記述問題 12問(配点2/3点)</li></ul> <p>修了評価Ⅱ</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・ 択一問題 19問(配点5点) 記述問題 1問(配点5点)</li></ul> <p>修了評価Ⅰ 全問正解：100点満点</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・ 「(1) 職務の理解」から0問</li><li>・ 「(2) 介護における尊厳の保持・自立支援」から2問</li><li>・ 「(3) 介護基本」から4問</li><li>・ 「(4) 介護・福祉サービスの理解と医療の連携」から6問</li><li>・ 「(5) 介護におけるコミュニケーション技術」から2問</li><li>・ 「(6) 老化の理解」から2問</li><li>・ 「(7) 認知症の理解」から7問</li><li>・ 「(8) 障害の理解」から3問</li><li>・ 「(9) こころとからだのしくみと生活援助技術」から15問</li></ul>
------------	--

修了評価Ⅱ 全問正解：100点満点

- 「(1) 職務の理解」から1問
- 「(2) 介護における尊厳の保持・自立支援」から2問
- 「(3) 介護基本」から1問
- 「(4) 介護・福祉サービスの理解と医療の連携」から2問
- 「(5) 介護におけるコミュニケーション技術」から1問
- 「(6) 老化の理解」から1問
- 「(7) 認知症の理解」から1問
- 「(8) 障害の理解」から2問
- 「(9) ことごとからだのしくみと生活援助技術」から9問

4 合否判定基準

70点以上

5 不合格になったときの取扱い

- 結果発表後、直ちに1時間の補講のうえ再評価を行う。  
なお、再評価の結果、不合格であった者には修了評価者が直ちに個別指導を行い再々評価を行う。  
再評価および再々評価に係る合格基準は70点以上とする。  
補講料：1時間あたり3,000円 再評価料は2,000円
- 再評価を最大3回まで実施する。
- 3回の再評価の結果、不合格であった者は未修了者扱いとする。